



工事着工から2か月経過しました。契約を交わした時の工事終了は2か月。ガーナあるあるで2か月では終わらないと当初から思っていたので工期が遅れる事に関しては問題はなく、工事開始直ぐにトビィ氏より工事変更を命じられ、その変更注文が次々に加わることも工期の遅れの要因であり、そのトビィ氏の注文に対してコントラクターは注文者である私に変更内容を確認するまでもなく進めてしまうのもトビィ氏が絶対的な権限を持つチーフなのだからイエスと応え進めるしかないのもガーナあるあるなのかもしれません。変更注文に従い作業をする現場監督のエネオスさんに一週間ぶりにあった23(金)のことです。外壁、内壁ともにきれいに左官作業が行われた建物を見る私に「トシコ、どうだい？気に入ってもらえたかい？」といつしかマダムからトシコと呼ぶようになったエネオスさんが聞いてきました。「素晴らしい。とっても良いね。」と答えると「トシコが喜んでいることをボスに伝えなきゃ。」とボスつまり毎回会って話をするチャールズさんのお兄さんに電話をかけ始めました。エネオスさんはじめ現場の作業員の仕事の丁寧さはこの報告書でも挙げ、またコントラクターのチャールズさんにもその思いを伝えている中、作業変更内容を私に説明した際、眉間にしわを寄せ聞いている私の顔をエネオスさんは直接見ているのです。前の週の13(火)学校に行くと、エネオスさんはトイレの窓部分を大きくするために積んだブロックを叩き崩す作業をしていました。前回の報告で挙げたトイレの窓問題が解決されていたのです。がしかし直ぐにエネオスさんが「トイレの窓は2つではなく1つになります。片方の窓は塞ぎます。なぜなら外部分に階段を作るので窓は作らず壁になるのです。」と説明しました。気づかないうちにまた眉間にしわを寄せ聞いているのでしょう。この日、現場作業はポーチの天井部分の左官作業と電気系統の配線作業。作業員の丁寧な仕事に前日チャールズさんに送ったワッナップの内容をととても恥じていました。前日12(月)に絶対にアルミルーフの屋根をつけて建物を完成させないとならない。アルミルーフの無い建物は日本側も私も完成として認めないという内容を送っていました。郷に入りては郷に従え、将来的に2階建てにするために1階部分の屋根(および天井)がコンクリートになり雨漏りの心配もない頑丈な建物になったのだから、もうアルミルーフには拘らず2階建て構想に譲ろうと思っていた時、すでに階段を設置する場所をトビィ氏が指示していたことに、揶揄をするわけではないのですが、裸の王様の「私は王様だ。王様の言う事にノーと言

ってはいけない。」そんな事を考えながら眉間にしわを寄せエネオスさんの話しを聞いていたのです。



7月13日（火）作業風景



この日、校内の中庭ではアフィフェのカーペンターがモノデスクと呼ばれる二人掛けの机を直す作業をしていました。8年前に助成金で寄付した机です。壊れたモノデスクの板を移植し直すので段々と数が減ってきています。丈夫な板を使って作ってもらったモノデスクですが耐久年数や体格の大きい子どもが二人掛けなのに3人掛けていたりすると傷むのが早く直ぐにグラグラと壊れてしまうのです。その直す作業を見て「図書館に置く備品の机、イス、ベンチはもっとしっかりした素材を使って作る。」そう改めて思わずにはいられませんでした。すでに、この図書館に置く机、イス、ベンチの見積もり依頼は打ち合わせも兼ねてしています。机は思考遊びも備わった形にこだわり、座った時の机とイスの最適な差も考えた図書館に置く備品です。小さくなってしまった図書館だけれども、フェリシモさんの協賛を得て作った書架3架を置き、図書館の机、イス、ベンチを置き、そこで本を読む子どもたちの様子が目に浮かんできました。見積もりがあがってきて、もし値段が予想よりも安くできたら机とイスを増やそう、ベンチも増やせるかな？見積もりが安く収まるようにという期待と、もしかしたらモノデスクよりも頑丈な板を使ってほしいとリクエストしてしまったから高いのではという不安がありました。この日の夜、机イスベンチの見積もりがきました。やはり、、、落胆するしかない金額でした。予想はしていたけれど、予想以上に高かったのです。今、建築資材の高騰もあります木材も値上がりしていてモノデスク1台の値段も上がっている中、モノデスクより頑丈な板を使って作ってほしいというお願い、そしてデザインにもこだわった原因。ガーナには安くて良いものは無く、安いとそれなりの物しかないので。図書館は最良な環境にしたい。この想いは決して譲れず、自問自答をしました。「裸の王様と揶揄しているけれど、本当はあなたが見栄っ張りの周りに良く思われ

たい裸の王様なんじゃない？」と。「私は裸の王様にはなりたくない。裸の王様なんかじゃない。」と答える自分がいます。トイレの窓一つ無くなったことも含めて、これまで何度も交わしたお金に関するワッツアップでのメッセージ。結果当初の見積額より 25 パーセント引きになったとは言え厳しい金額。しかし「図書館は最良な環境にしたい。」という絶対に譲れない思いがあるのです。現時点(25日、日曜)では不足資金調達に関して思案中です。同じ週の金曜日(16日)学校に到着すると、校内で現在唯一電源を確保できるセキュリティで4年生の先生がパソコンを使い授業をしていました。こうしたパソコンを使った授業も図書館で出来るようになると良いなと思いました。なおセキュリティハウスは窓が無く鉄格子だけはめ込まれた枠には雨の侵入を防ぐため黒いビニールがかけられています。この日、エネオスさんは鉄格子をはめる作業、他の作業員は左官の続きをしていました。現場の中に入り動画撮影をしていると私を見つけて手を振ってくる園児の姿を見て、この図書館はこの子どもたちのためにも備品も含めて完成させたいと強く想いました。



今月 20 日はムスリムの犠牲祭 Eid で祝日となり学校はお休みでした。久しぶりの祝日です。これまで5月25日はアフリカ連合の日と7月2日の共和国樹立記念日も祝日でしたがどちらとも祝日ではなくメモリアルデーとなったので、20日のEidが5月にあったラマダン明けのEidに続いての祝日となったので約2か月ぶりの祝日となりました。

そして23日(金)が一週間ぶりの学校となったのです。この日は、エネオスさん一人だけでした。



7月23日（金）ドアが取り付けられていました。きれいに左官された壁に鼻を近づけるとコンクリートの新築のいい匂いがしていました。



図書館入ってすぐ左には書架を置く予定です。トイレの窓は一つになってしまいました。十分に日差しが入る大きさです。トイレのドアはタイルを床に張った後に塗装して取り付けられます。

26日（月）以降の作業は、タイルと窓が搬入され窓（3か所）をつける作業、そしてタイルを張る作業をするとエネオスさんが教えてくれました。

★ガーナの学校に欠かせないモノデスクは主に小学校で使う机です。中学校で使用されるのがデュアルデスクと呼ばれる一人掛けの机になります。



次々と壊れるモノデスク。木材を購入して直すことはせず壊れたものから移植して直すため寄贈した当初よりかなり減ってきています。こうした光景を見ているからこそ、図書館の備品はしっかりとしたものを置きたいと思うのです。

水洗トイレ付図書館建設プロジェクトサポーター 一般社団法人ギブアウェイ様